

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	リサイクルプラザ施設管理事業							担当部	環境交通部			
	会計区分	一般会計				事業類型	法定受託系		担当課	リサイクルプラザ			
	事業期間	平成12年度以前			～		平成30年度以降			担当係	清掃資源係		
	総合計画 分野別計画	主目的	2 環境交通		6 ごみ対策			1 3Rを推進する					
		副目的											
	予算区分	款	4		項	2		目	2		大	3 中 1	
	根拠法令・個別計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、小牧市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例											
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	市内で回収された資源(空きびん、空き缶、ペットボトル)の再資源化のため、適正な管理を行う。											
	内容 (手段)	<p>市内で回収された資源(空きびん、空き缶、ペットボトル)の選別・圧縮・梱包の中間処理を行ない、再資源化事業者へ引渡した。 リサイクルプラザ運転委託等の委託管理業務を行った。 また、空きびん、空き缶、ペットボトルの手選別業務を行った。</p> <p>【24年度直接経費の内訳】 リサイクルプラザ運転委託料(34,125千円) リサイクルプラザ設備保守管理委託料(15,149千円) リサイクルプラザ施設管理委託料(6,967千円)      ごみ選別委託料(11,027千円) 樹木管理委託料(426千円)      空き缶等供給コンベヤ等修繕料(22,911千円) 光熱水費・消耗品費・燃料費(8,480千円)      事務機器借上料等(603千円) 電話代等(891千円)      ネズミ駆除委託料(155千円)</p> <p>【25年度直接経費の内訳】 リサイクルプラザ運転委託料(34,755千円) リサイクルプラザ設備保守管理委託料(16,054千円) リサイクルプラザ施設管理委託料(7,338千円)      ごみ選別委託料(11,892千円) 樹木管理委託料(427千円)      空き缶等供給コンベヤ等修繕料(24,000千円) 光熱水費・消耗品費・燃料費(9,932千円)      事務機器借上料等(436千円) 電話代等(1,004千円)      業務用備品購入費等(134千円)</p> <p>【24その他財源の内容】 職員等駐車場利用負担金(392千円) 自動販売機光熱水費負担金(71千円)</p> <p>【25その他財源の内容】 自動販売機光熱水費負担金(69千円)</p> <p>○25年度実施内容 24年度と同様に実施する。</p>											
	受益者負担	無											

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	93,079	100,848	100,734	105,972	
		正職員	従事者数	人	0.30	0.30	0.25	0.25
			人件費	千円	1,599	1,599	1,332	1,332
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	0	147	147	147
		費用合計		千円	94,678	102,594	102,213	107,451
	対前年比		%		108.3	99.6	105.1	
財源	一般財源	千円	93,448	101,394	101,750	107,382		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	1,230	1,200	463	69		

業 績	活動指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	資源の処理量	t	目標	—	—	—	—
			実績	1,531	1,522	1,502	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	資源の処理量	t	目標	—	—	—	—
			実績	1,531	1,522	1,502	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	市民生活から排出された資源(空き缶、空きびん、ペットボトル)1502トンの中間処理をするため適正な管理に努めた。また、施設の管理、補修等により適正な施設の維持管理が図られている。		
		事業実施における課題	平成16年3月末に竣工したので、9年経過し施設の維持管理に補修等の費用が増加してきた。		
		事業を縮小・廃止したときの影響	市民生活から排出された資源(空き缶、空きびん、ペットボトル)の中間処理ができなくなり、再資源化が図れなくなる。		
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	長期設備維持管理計画及び機械設備保守点検の結果に基づき計画的な修繕・補修に努める。		
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)	
		判定理由	再資源化のための中間処理や施設の管理、補修等を適正に執行できているため。		
26年度以降の改善案		引き続き長期設備維持管理計画及び機械設備保守点検の結果に基づき計画的な修繕・補修に努める。			

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。